事業番号	02 05 01	事業改善シート(27年度実施事業分) ▮	■当初要	求	□当初予算案	口補正予算案	□点検
事 業		信州まつもと空港活性化事業		担	部局	企画振興部	
名	1月711まりも<全色街生化事業 				課·室	交通政策課	
総合5か 年計画	プロジェクト 2-1-4 農山村産業クラスター形成プロジェクト				E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	5-1 高速交通・情報通信ネットワークの充実 3 信州まつもと空港の活性化					
	旭州の心口口段用			実施期間 H6 ~		\sim	

1 事業の概要

信州まつもと空港にかかる広報宣伝と利用者・旅行会社等への支援を関係機関と連携して取り組み、信州まつもと空港発着の国内定 目指す姿 期便の安定的な運航の確保及び増便を目指す。

成果目標:信州まつもと空港利用者数 76千人(H23)→120千人(H29)

現状(予算編 成時)

○信州まつもと空港発着の札幌線と福岡線を合わせた平成25年度の定期便の利用率は、ジェット化開港以来最高の75.4%を記録。 〇一方で、夏季の利用率は高いものの(H26.7月~9月の利用率84.0%)、冬期の利用率は落ち込む傾向(H25.11月~H26.1月の利

用率66.9%)にある。

県が関与 する理由

県でなければ実施不可(その他)

【左記の説明、根拠法令等】

市町村・経済団体とともに、県営空港の活性化に向けて県が主体的に取り組む必要がある。 信州まつもと空港利用促進協議会規約

県民との協働による実施: 実施は困難

① 成果目標(H27)

○定期便等の利用者数:H29年度 120千人に向け、H27年度97千人

(設定理由:空港の利用状況を表す定期便、季節運航便及びチャーター便の利用者数について、定期便の利用率向上を目指して 97千人と設定)

○定期便の利用率 75%

(設定理由:路線拡充(現行路線の複便化、新規路線の開設)を図る際の目安となる定期便利用率の向上を目指して、75%と設定)

② 事業内容 (単位:千円)

成果目 標•事業 内容

	項目	実施方法	H27実施内容	H26	H27		
	次口 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		口27 美旭四谷	(当初)	(要求)	(予算案)	
1.空港利用 促進事業	負担先(信州まつもと空港利用促進協議会) ①定期便の利用拡大 ・各種メディアを活用したプロモート企画の実施 ・旅行商品の造成支援 ほか ②チャーター便の運航支援 ③季節運航便の定着 ④空港アクセスの向上 ・空港ー松本BT間のシャトルバスの運行支援				20,100	20,100	
	(2)空の日事業負担金	負担金	負担先(スカイフェスティバルin松本 「スカイフェスティバルin 松本」の開 (県民の方が空港に親しんでもらうが	300	300		
2.信州まつも	と空港路線拡充事業	補助金	_	2,200	_		
				合計	22,600	20,400	0

	区	分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27要求	27予算案	成果目標の達成状況						
事業コスト	予算額	前年度繰越						項目	H26末	H27			H28	
		当初予算	19,200	19,200	22,600	20,400			(見込)	目標	成果	達成状況	目標	
		補正予算	11,567					信州まつもと 空港利用者数	90千人	97千人				
		合計(A)	30,767	19,200	22,600	20,400	0		901人	9117				
	Aの 財源	一般財源	19,200	19,200	22,600	20,400		国内定期便	70%	75%				
		県 債						利用率	10/0					
		国庫支出金												
		その他	11,567	0	0	0	0							
	決	算 額(B)	30,759	19,200										
		職員数(人)	3.00	3.00	3.00	3.00								
	人 作 書	概算人件費 (C)	24,774	24,774	24,774	24,774	0							
	概算	[事業費(B(A)+C)	55,533	43,974	47,374	45,174	0							

指摘事項等への対応

■県民協働による事業改善

(指摘事項等) □監査

□決算特別委員会

PRの工夫・充実をすべき。

引き続き、市町村等と連携して空港の活性化に取り組んでいきます。

要求からの主な変更点